

決算説明会

(2004年6月期)

2004年8月24日

株式会社 アルバック

- ▶ **2004年6月期連結業績の概要**
- ▶ **市場環境**
- ▶ **2005年6月期連結業績予想**
- ▶ **中長期の事業戦略**

会社概要

■ 事業内容

● 真空関連事業

ディスプレイおよび電子部品製造装置

:フラットパネル(液晶、有機EL、PDP)や電子部品製造装置

半導体製造装置

:メモリー、ロジック、化合物半導体等の半導体製造装置

コンポーネント

:真空ポンプ、計測器、電源などの真空機器

その他

:超高真空装置や真空熱処理炉など一般産業機器

● その他の事業

先端材料、表面解析装置、装置制御

:ナノメタルインク、ナノテク関連分析装置、制御システムなど

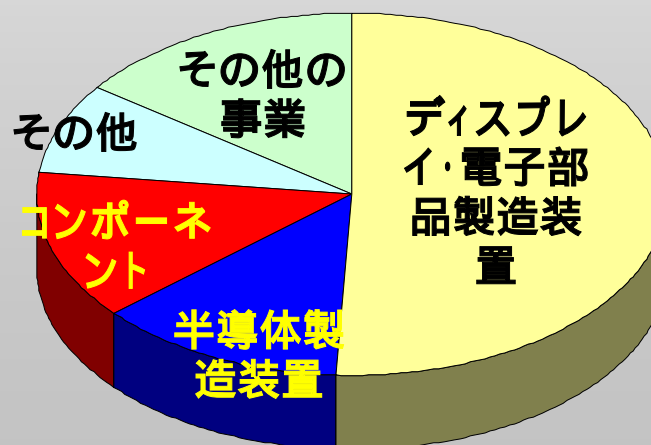
■ 04/6期実績(連結)

(単位:億円)

売上高	1,579
経常利益	73
当期利益	40
株主資本	581
(小数点以下は四捨五入)	
従業員	3,712名

■ 部門別売上高構成比(連結)

(単位:億円)



804 (51%)
201 (13%)
210 (13%)
124 (8%)
239 (15%)

(小数点以下は四捨五入)

04/6期業績

(単位:億円)

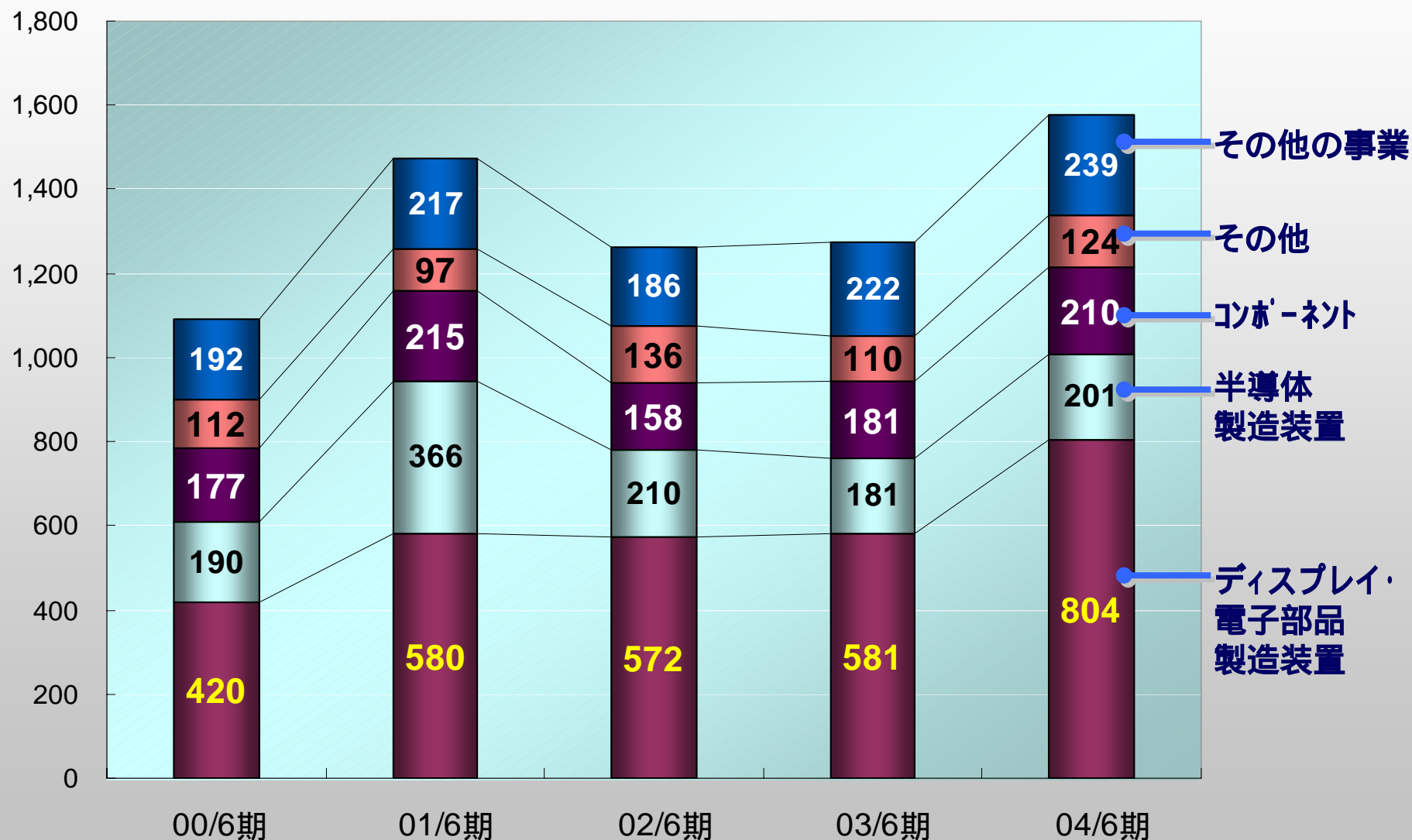
	02/6期	03/6期	04/6期
受注高	1,078 (26%)	1,478 (+37%)	1,782 (+21%)
売上高	1,261 (14%)	1,275 (+1%)	1,579 (+24%)
売上総利益	205 (26%)	241 (+18%)	300 (+24%)
営業利益	23 (75%)	47 (+108%)	85 (+79%)
経常利益	20 (78%)	36 (+78%)	73 (+105%)
当期純利益	7 (87%)	17 (+159%)	40 (+129%)

下段()内は増減率

(小数点以下は四捨五入)

品目別売上高の推移

(単位:億円)



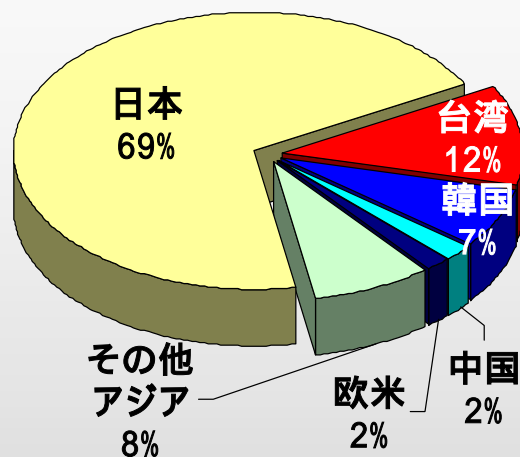
(小数点以下は四捨五入)

品目別売上高の動向

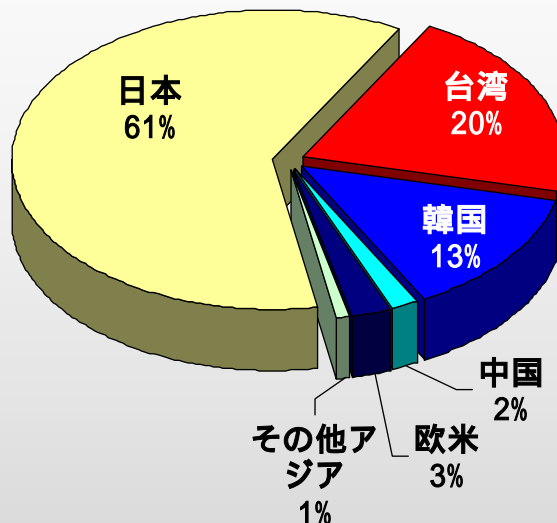
品 目	03/6期	04/6期	
	増減率	増減率	背 景
ディスプレイおよび 電子部品製造装置	+2%	+38%	<ul style="list-style-type: none"> ・薄型(液晶、プラズマ)テレビ市場拡大によりプラズマ、5G、6Gの投資が活発化 ・LEDや電子部品売上増
半導体製造装置	-14%	+11%	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル家電、化合物半導体関連の売上増
コンポーネント	+15%	+16%	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶装置用ポンプの売上増 ・空調、自動車関連の真空ポンプ売上増
その他	-19%	+13%	<ul style="list-style-type: none"> ・国内中心に熱処理炉の売上増
その他の事業	+19%	+8%	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶、半導体ターゲット好調

地域別売上高構成比の推移

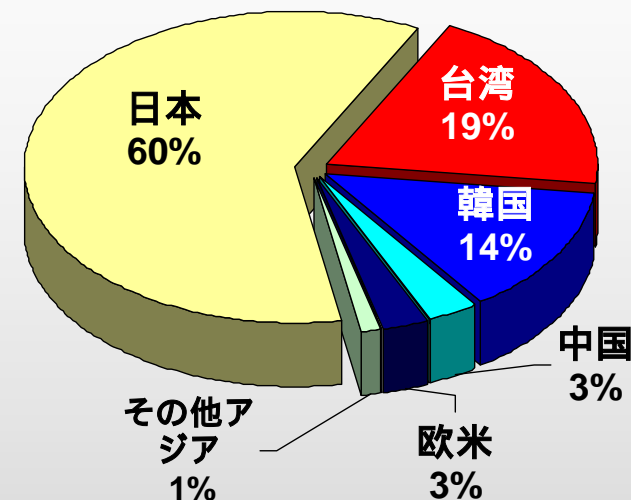
02/6期



03/6期



04/6期



(単位:億円)

	02/6期	03/6期	04/6期
日本	874	773 (-12%)	953 (+23%)
台湾	147	261 (+78%)	304 (+16%)
韓国	87	172 (+98%)	211 (+23%)
中国	26	22 (-15%)	47 (+114%)
その他アジア	102	9 (-91%)	16 (+78%)
欧米他	24	38 (+58%)	47 (+23%)
合計	1,261	1,275 (+1%)	1,579 (+24%)

()内は増減率

(小数点以下は四捨五入)

バランスシート(資産の部)

(単位:億円)

	04/6期	03/6期	増減
流動資産	1,369	1,164	205
現金・預金	179	157	22
受取手形及び売掛金	664	519	145
たな卸資産	472	436	36
繰延税金資産	30	28	2
その他	27	28	1
貸倒引当金	2	3	1
固定資産	638	576	62
有形固定資産	463	442	21
建物及び構築物	207	174	33
機械装置及び運搬具	142	133	9
工具器具及び備品	19	16	3
土地	74	74	1
建設仮勘定	22	45	23
無形固定資産	24	9	15
投資等	150	125	25
投資有価証券	85	68	17
繰延税金資産	29	26	3
その他	37	31	6
繰延資産	0	0	0
資産合計	2,006	1,740	266

売上高増加による

受注残高増加による

- ・アルバック本社棟建設
- ・九州鹿児島5期工場建設
- ・韓国平澤第3期工場建設
- ・寧波第2期工場建設

- ・投資有価証券評価差額金等
- ・関係会社投資
(昭和真空、アルバック蘇州等)

(小数点以下は四捨五入)

バランスシート(負債・資本の部)

	04/6期	03/6期	増減
流動負債	1,043	943	101
支払手形及び買掛金	502	355	147
短期借入金	348	427	78
一年以内償還予定社債	5	-	5
賞与引当金	11	10	1
未払法人税等	26	14	12
製品保証引当金	23	16	7
その他	128	120	8
固定負債	349	345	4
社債	27	30	3
長期借入金	232	234	2
退職給付引当金等	88	78	9
その他	3	2	0
負債合計	1,392	1,288	105
少数株主持分	33	32	1
資本金	90	39	51
資本剰余金	102	29	73
利益剰余金	389	354	35
その他有価証券評価差額	7	0	7
為替換算調整勘定	5	2	4
自己株式	0	0	0
資本合計	582	420	162
負債・資本合計	2,006	1,739	267

(単位:億円)

受注残高増加による

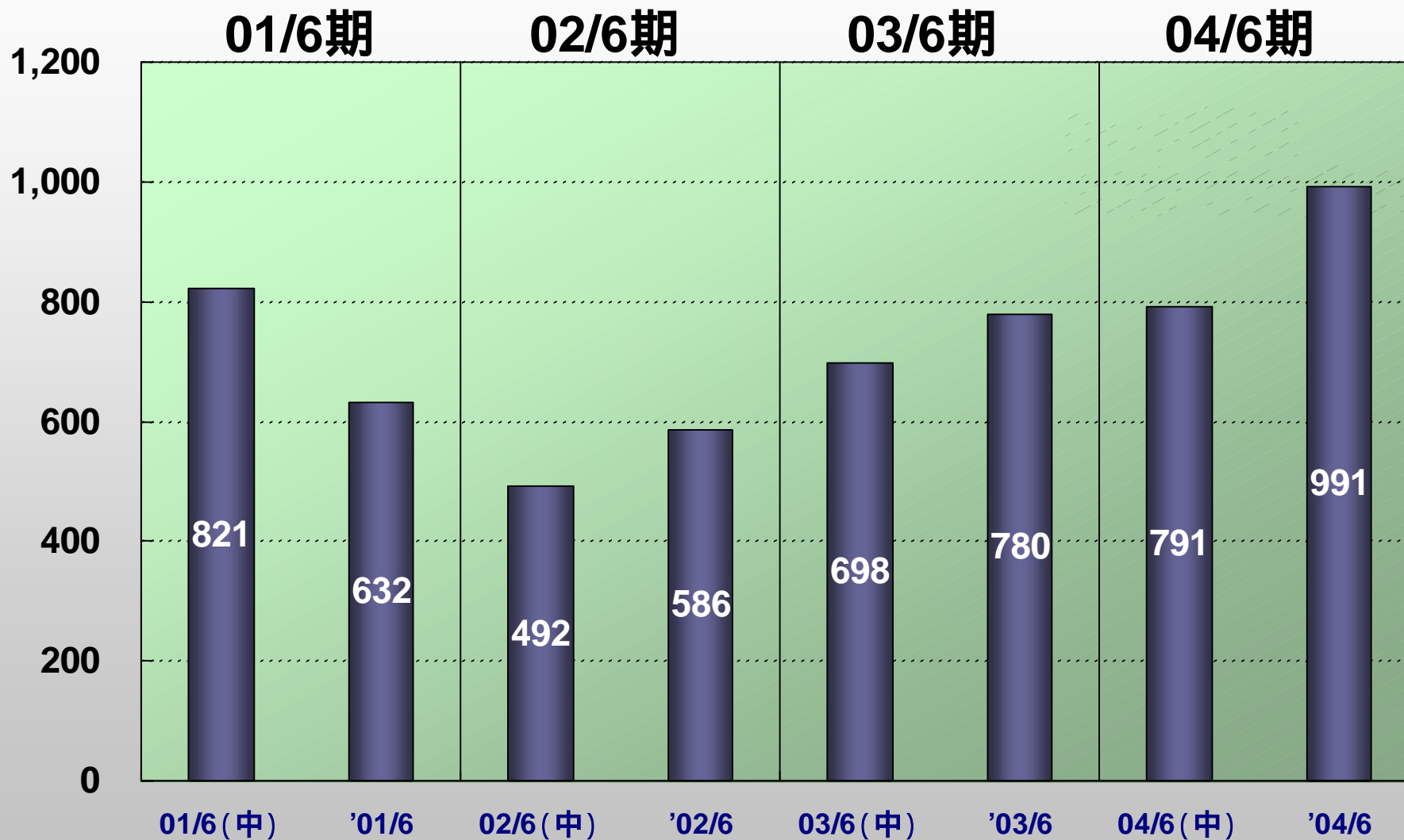
上場時公募増資による
返済等

上場時公募増資による

(小数点以下は四捨五入)

受注高の推移 (連結)

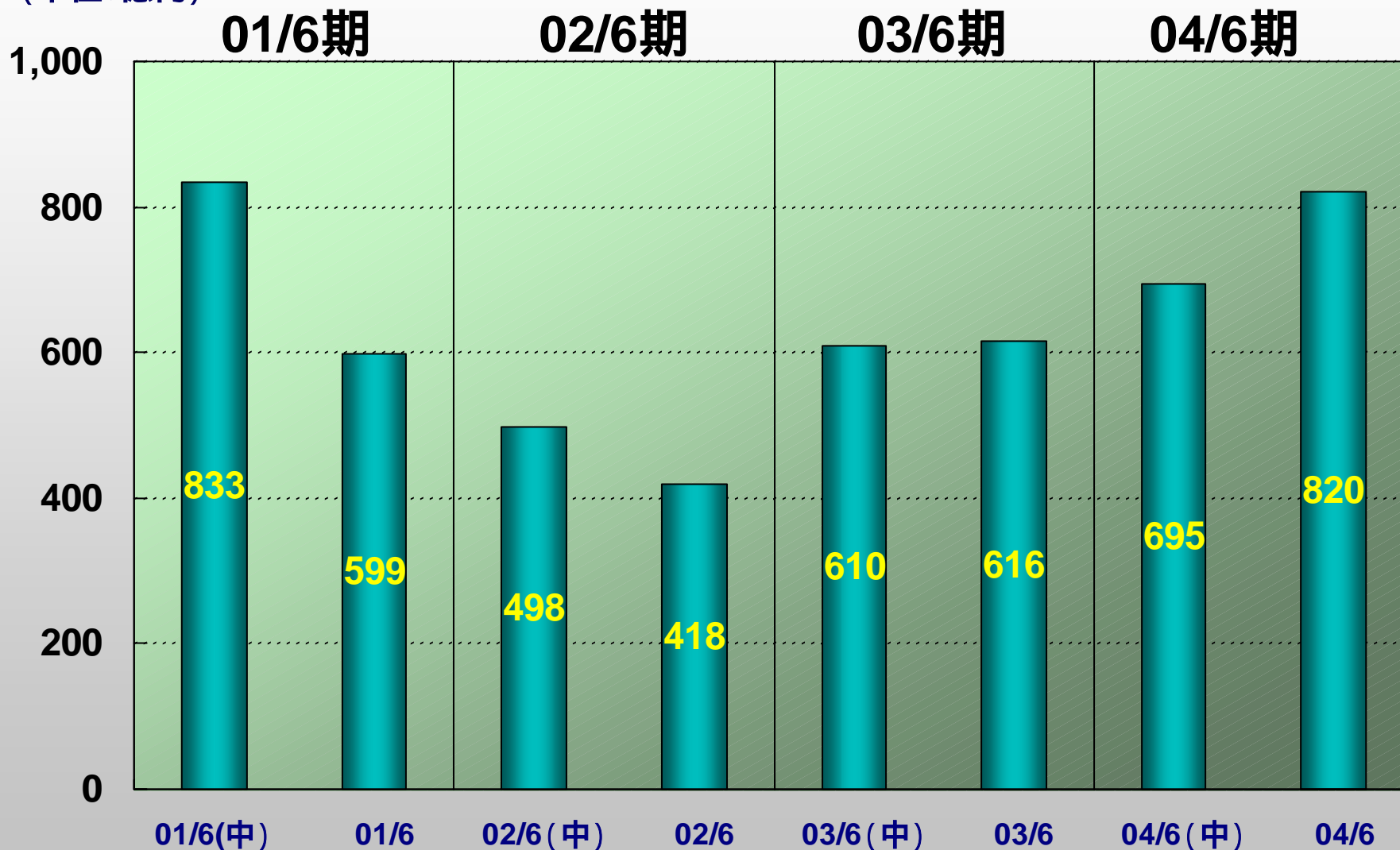
(単位: 億円)



(小数点以下は四捨五入)

半期毎受注残高推移 (連結)

(単位:億円)



(小数点以下は四捨五入)

主な投資(海外)

中国・寧波



生產品目・真空ポンプ

2期工場(03/11竣工)

中国・蘇州



生產品目・真空蒸着、熱処理炉

新工場(04/5竣工)

韓国・平澤



生產品目・液晶用スパッタ

3期工場(03/10竣工)

米国・カリフォルニア



生產品目・インクジェットプリンティング

Litrex Corporation
(03/8株式取得、子会社化)

中国・成都



生產品目・リークテストシステム

合弁会社(03/10設立)

主な投資(国内)

鹿児島



主な生産品目・FPD製造装置

5期工場(04/2竣工)

八戸



主な生産品目

・FPD製造装置、産業機器他

クリーンルーム拡張(04/4竣工)

茅ヶ崎本社



主な生産品目

・FPD、電子部品製造装置

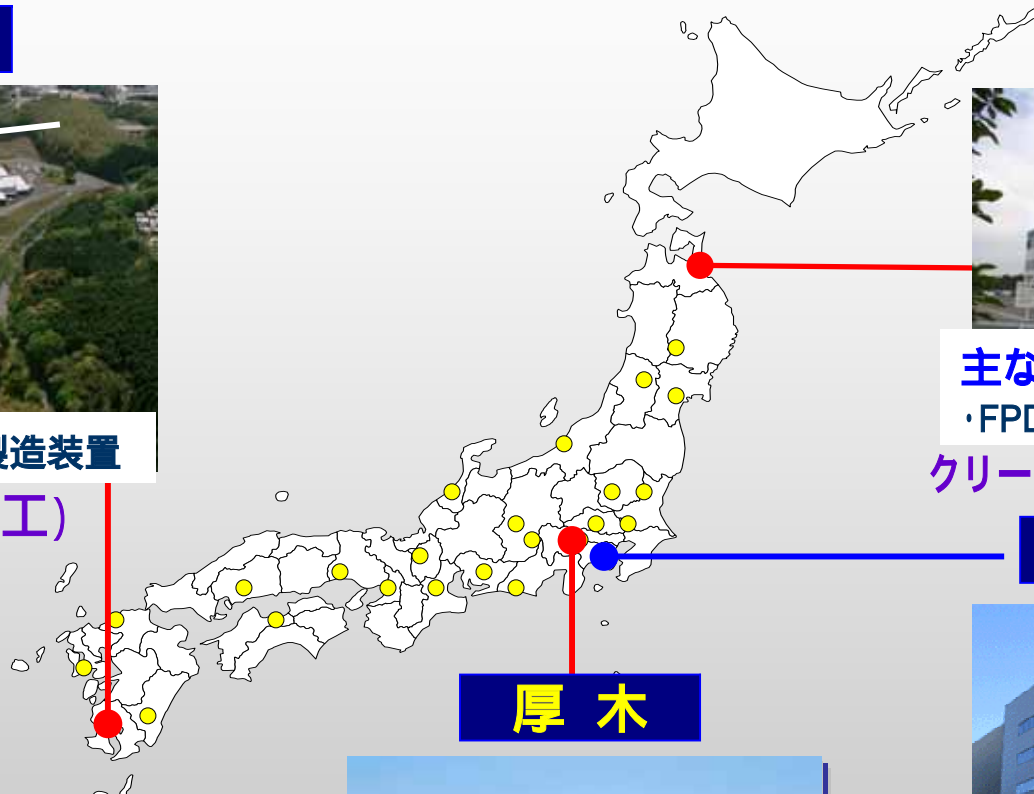
・コンポーネント

・産業機器、超高真空装置

厚木

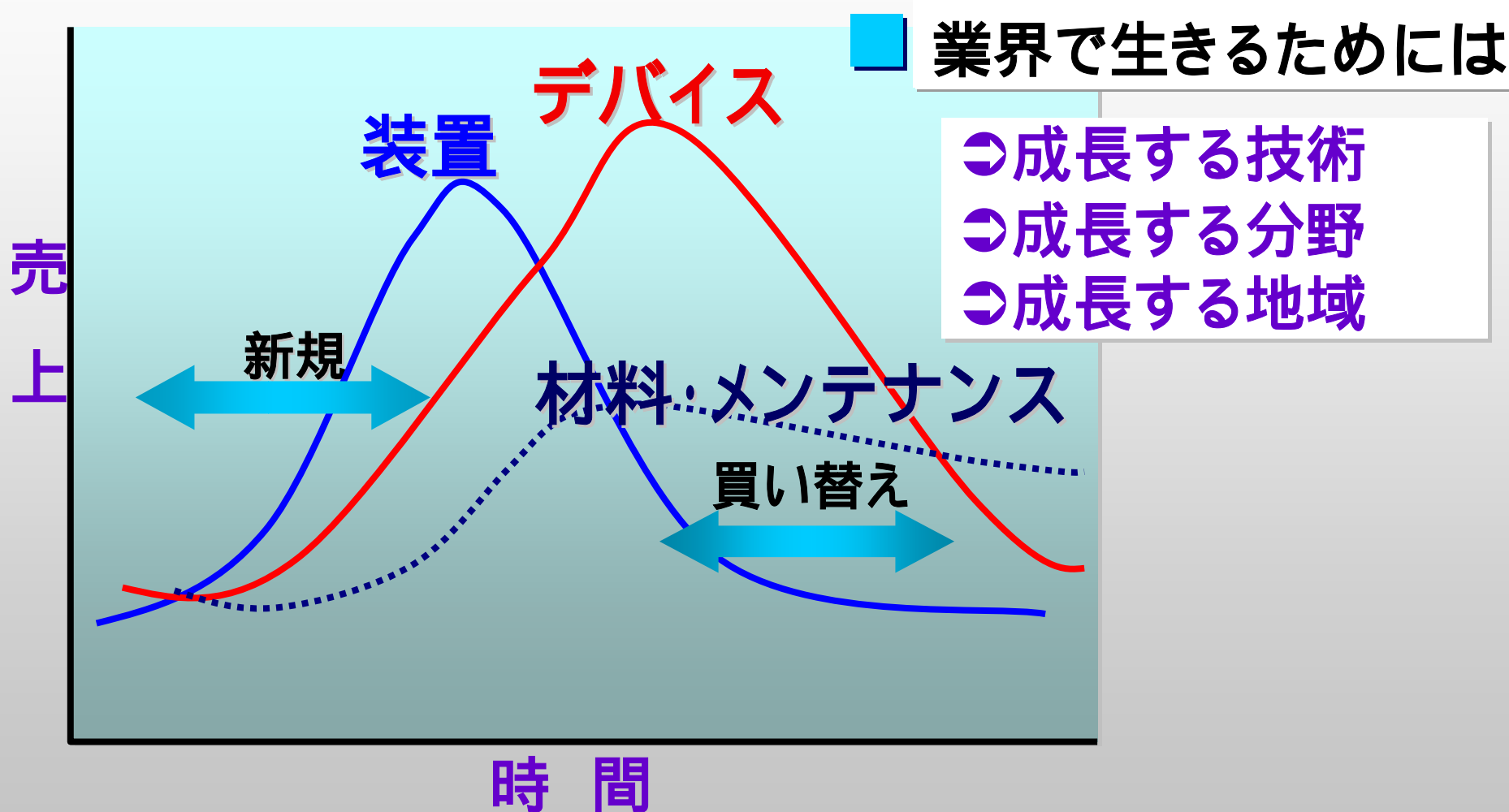


光学膜受託生産
(04/2 OCLI厚木工場買収)



- ▶ 2004年6月期連結業績の概要
- ▶ **市場環境**
- ▶ 2005年6月期連結業績予想
- ▶ 中長期の事業戦略

製造装置ビジネスの特徴



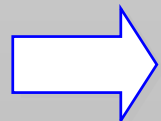
事業環境

■ ポジティブ要因

- ・景気は堅調に回復
- ・ディスプレイ・デジタル家電を中心に設備投資が活発に行なわれた
- ・ガラス基板の大型化(液晶)、新しいデバイスなど技術革新が急激に進展

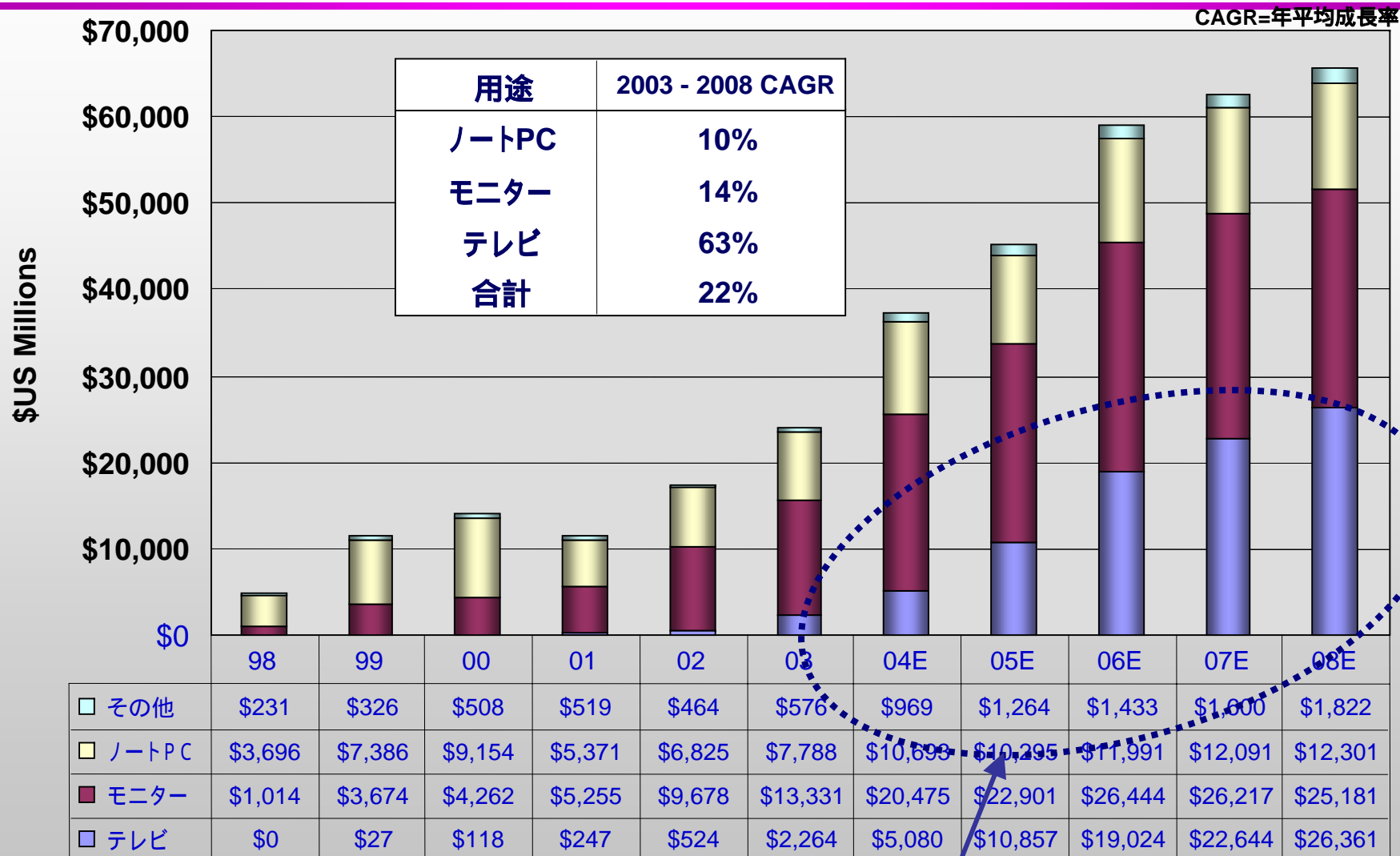
■ ネガティブ要因

- ・構造的なデフレが進行し販売価格が急落
- ・韓国、中国の装置メーカーが価格競争力、技術力をつけ前工程でシェア獲得の開始



グローバルな生き残りをかけた競争が激化

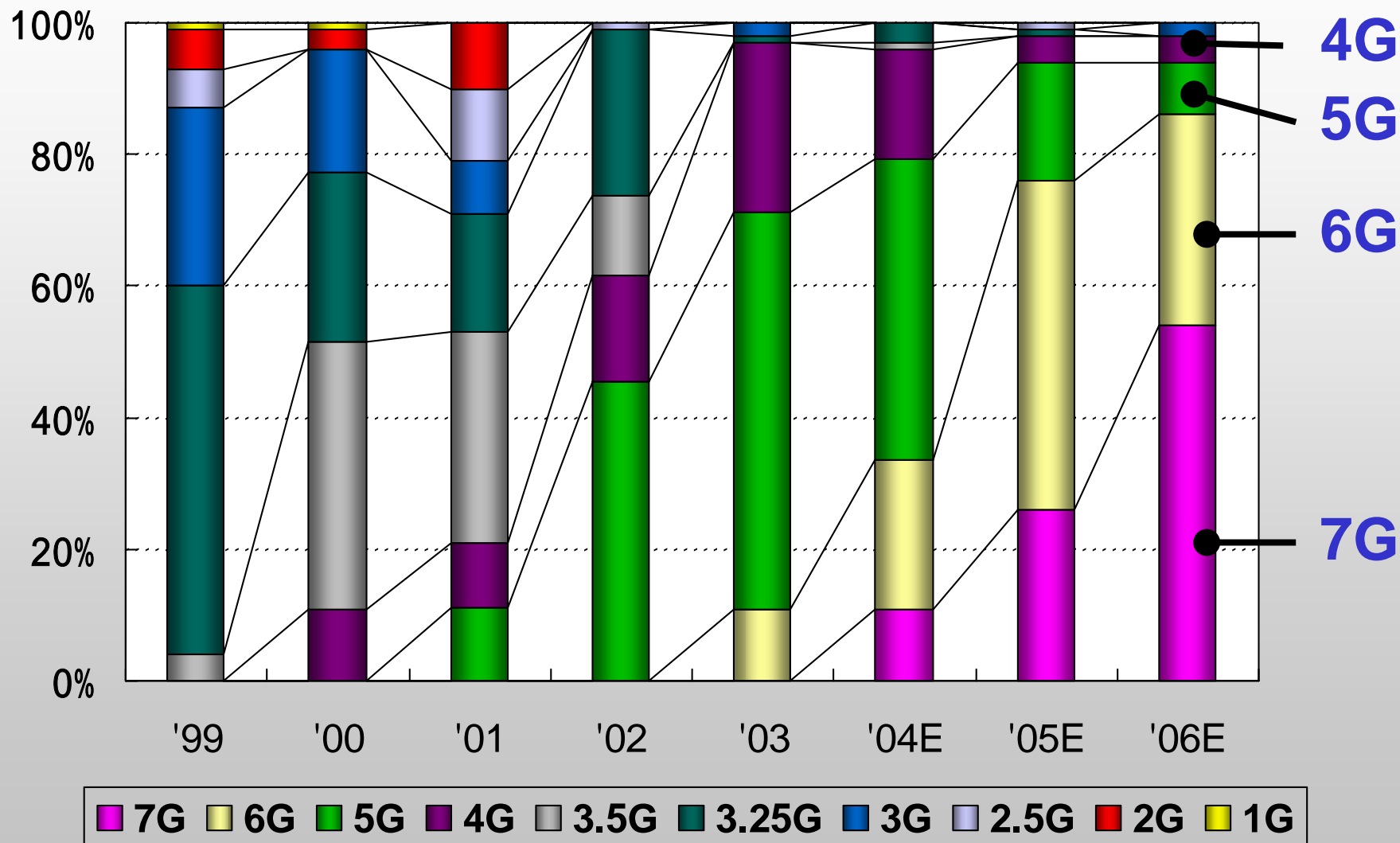
大型TFTLCD用途別市場規模(金額)



(出所: Display Search)

TVは04年～08年で5倍

液晶ディスプレイ世代別投資



(出所: Display Search)

- ▶ 2004年6月期連結業績の概要
- ▶ 市場環境
- ▶ **2005年6月期連結業績予想**
- ▶ 中長期の事業戦略

05/6期業績予想

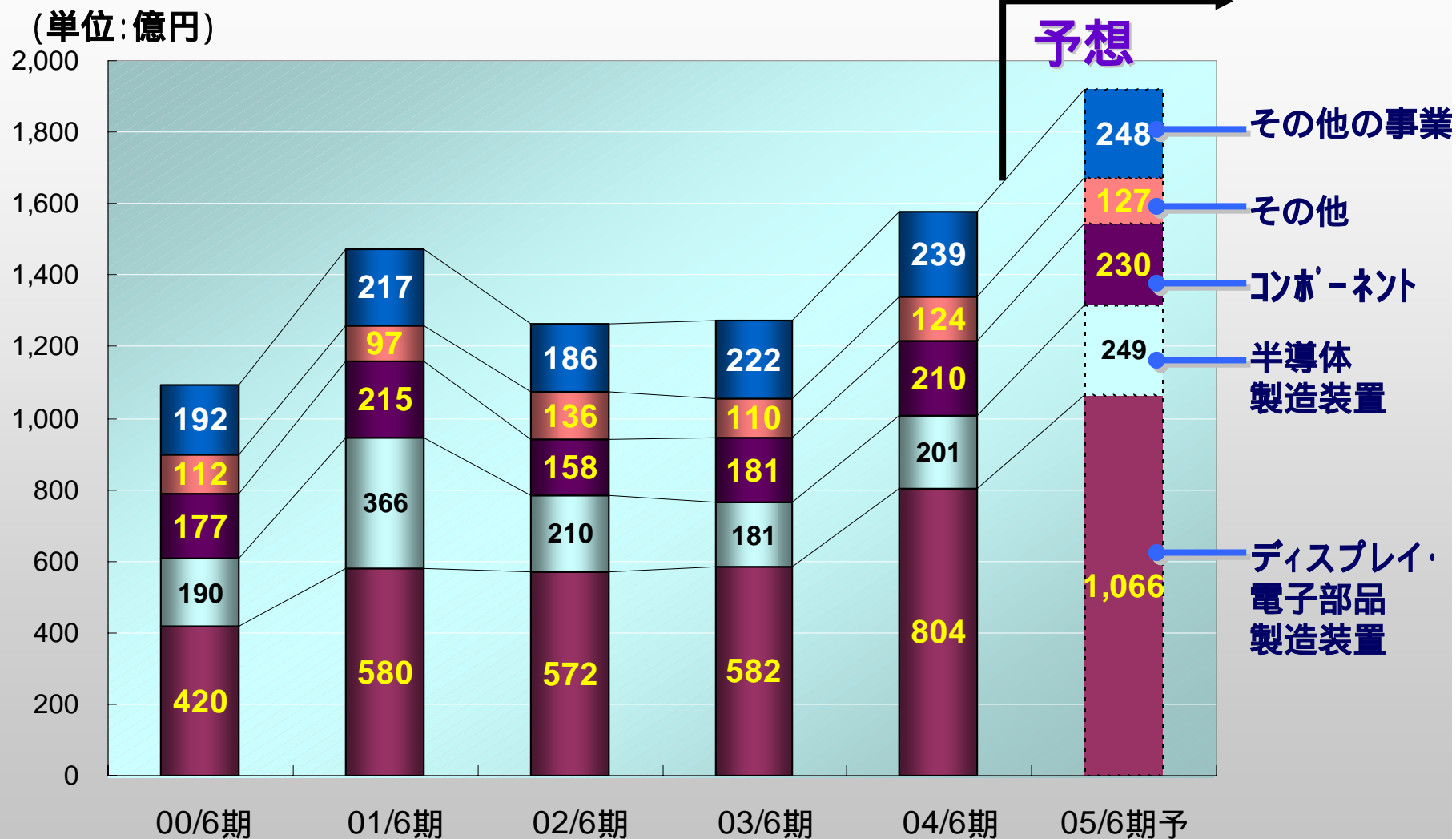
(単位: 億円)

	02/6期	03/6期	04/6期	04/12 (中間)	05/6期
受注高	1,078	1,478 (+37%)	1,782 (+ 21%)	1,020	2,000 (+12%)
売上高	1,261	1,275 (+1%)	1,579 (+24%)	970	1,920 (+ 22%)
営業利益	23	47 (+104%)	85 (+81%)	70	118 (+39%)
経常利益	20	36 (+78%)	73 (+103%)	69	110 (+51%)
当期純利益	7	17 (+143%)	40 (+135%)	40	59 (+48%)

下段()内は増減率

(小数点以下は四捨五入)

品目別売上高実績・予想

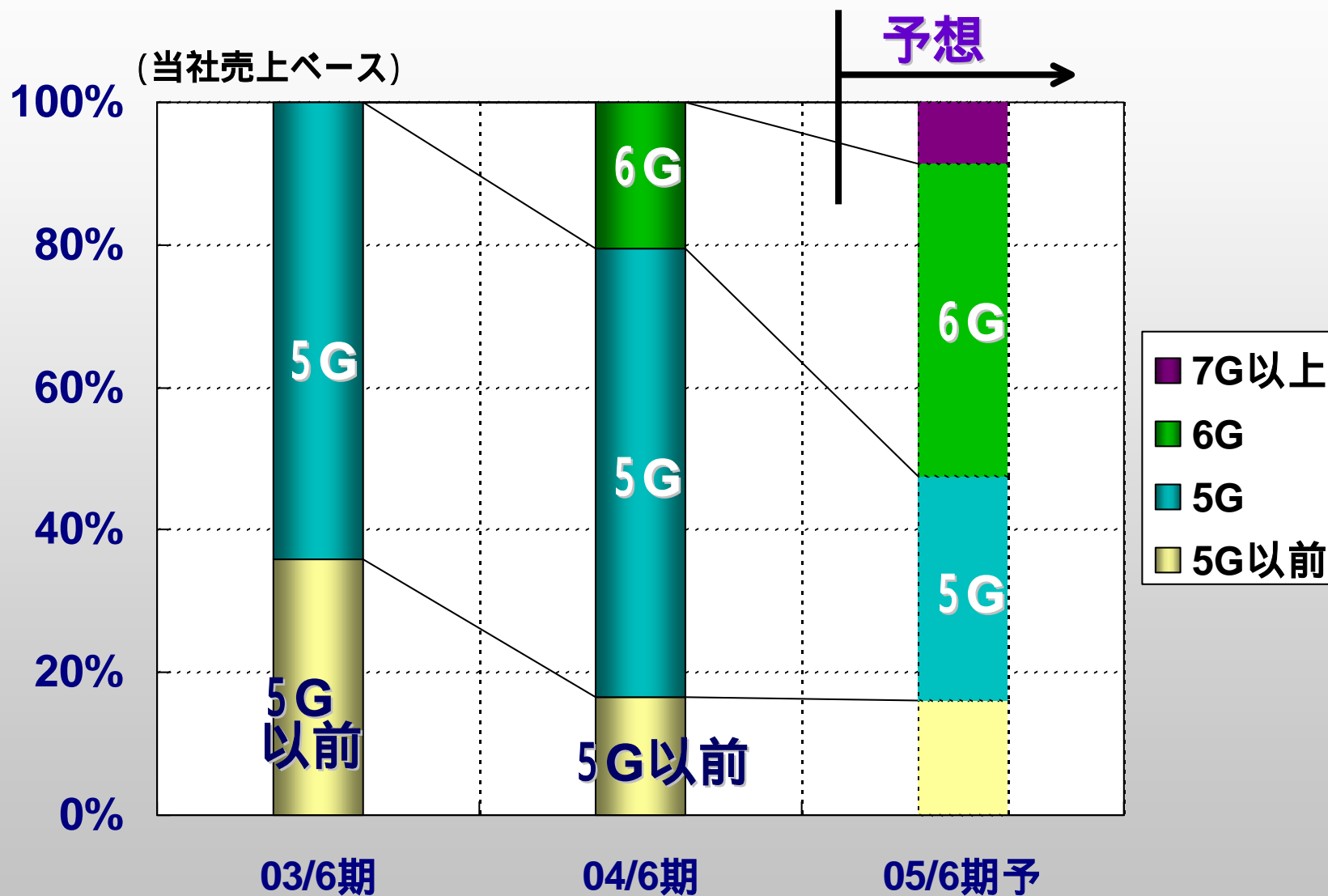


(小数点以下は四捨五入)

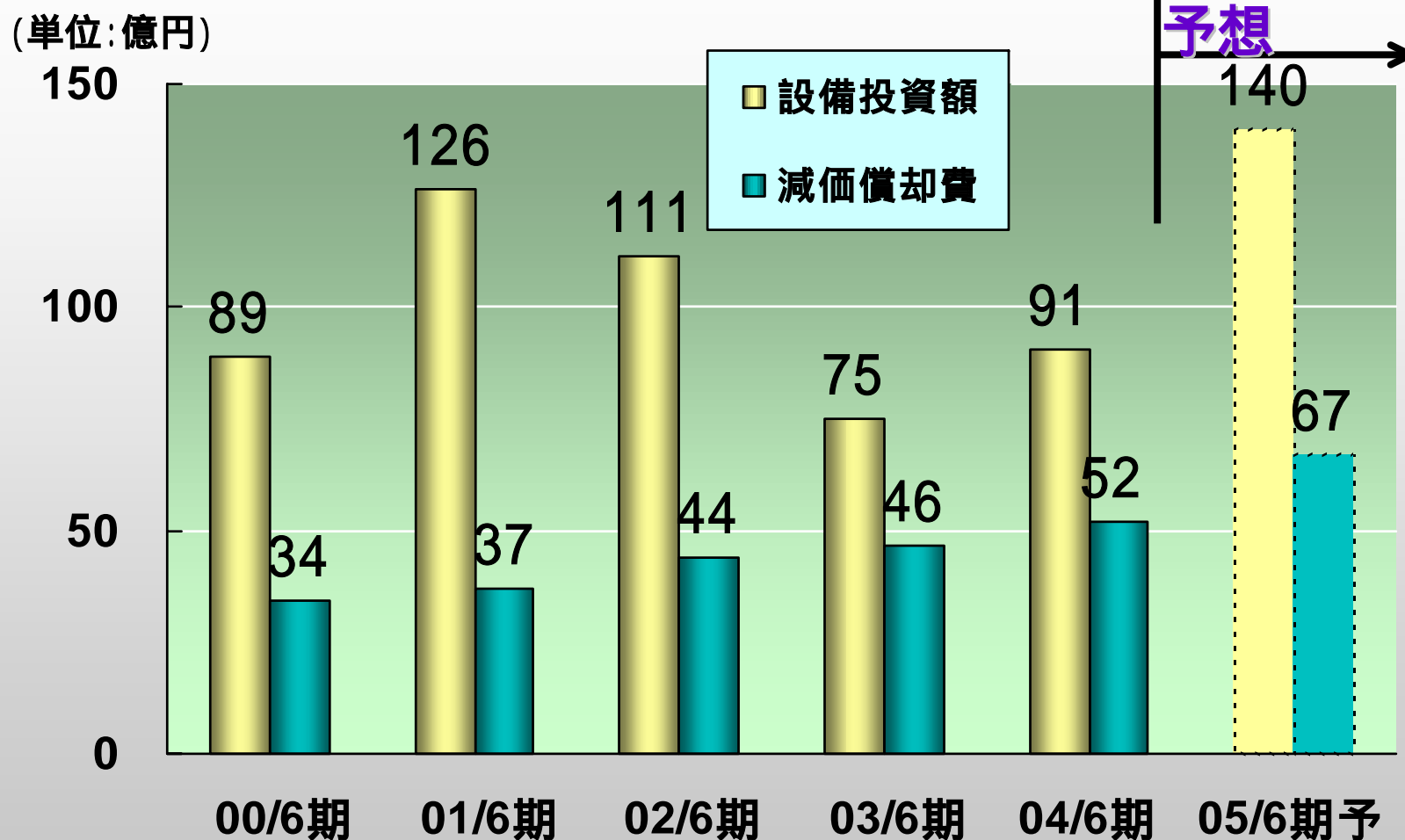
品目別の売上予想

品目	05/6期予想	
	増減率	背景
ディスプレイおよび電子部品製造装置	+33%	<ul style="list-style-type: none"> ・薄型(液晶、プラズマ)テレビ市場向け5G、6Gの投資継続 ・LED、光学薄膜、実装基板など電子部品関連売上増見込む
半導体製造装置	+24%	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル家電、化合物半導体MEMS関連売上増を見込む
コンポーネント	+10%	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶、空調、自動車関連のポンプなど売上増を見込む
その他	+2%	<ul style="list-style-type: none"> ・中国、ロシアで熱処理炉など拡販
その他の事業	+4%	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体、液晶用ターゲット、部品洗浄ビジネスなど売上増を見込む

液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移

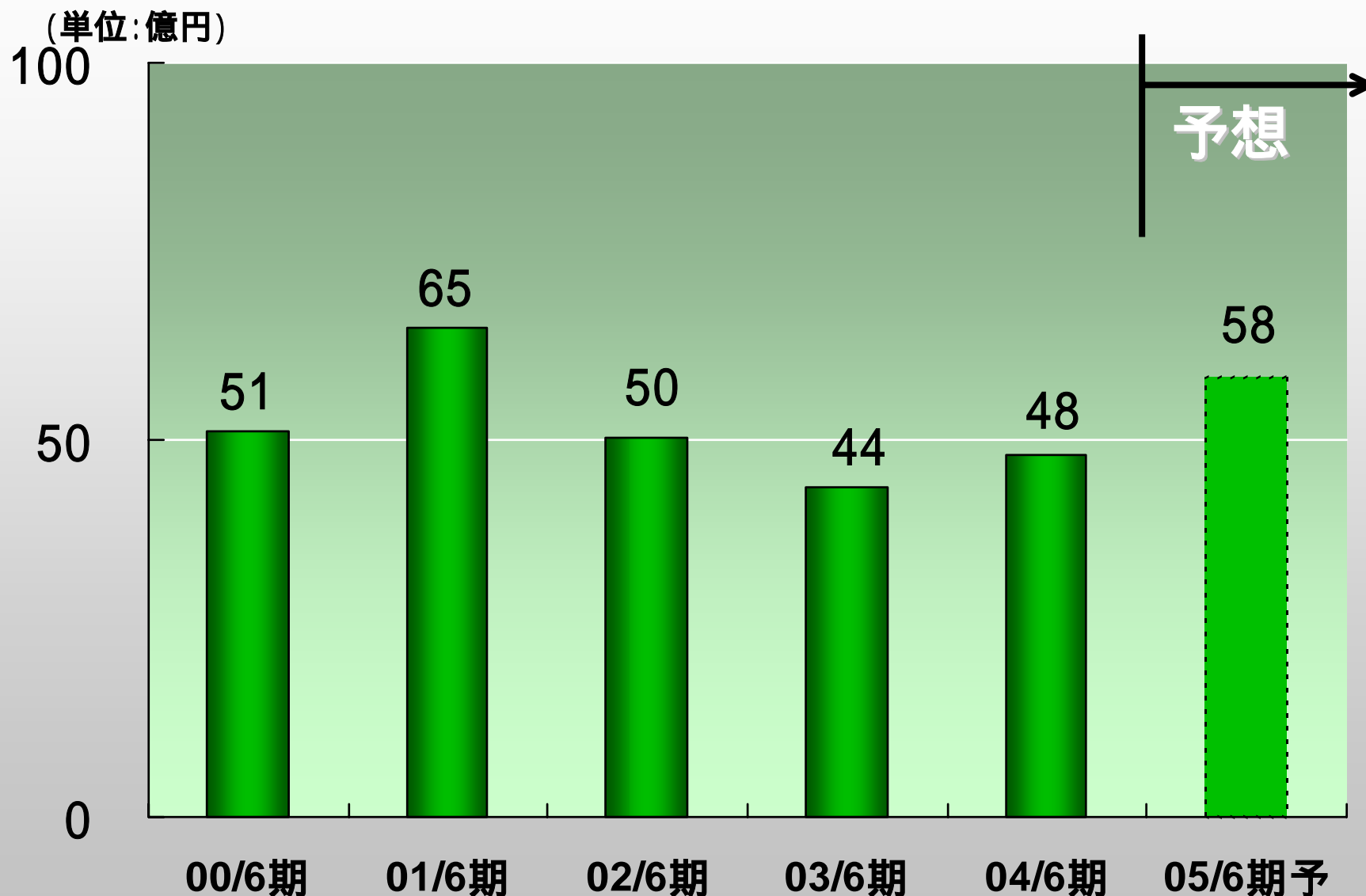


設備投資、減価償却費の推移 (連結)



設備投資額	89	126	111	75	91	140
減価償却費	34	37	44	46	52	67

研究開発費の推移(連結)



経営戦略と対応策

目 標

受注拡大

高収益で特徴的な会社へ

コストダウン

■生産改革第2フェーズ

■独創的最先端技術で継続的成長

グローバル化

財務戦略

新商品開発

1.コストダウン戦略

■背景

- お客様からの強い価格引き下げ要請は恒常的
- 開発スピードが早く検証する間もなくお客様に納入

生産改革ロードマップ

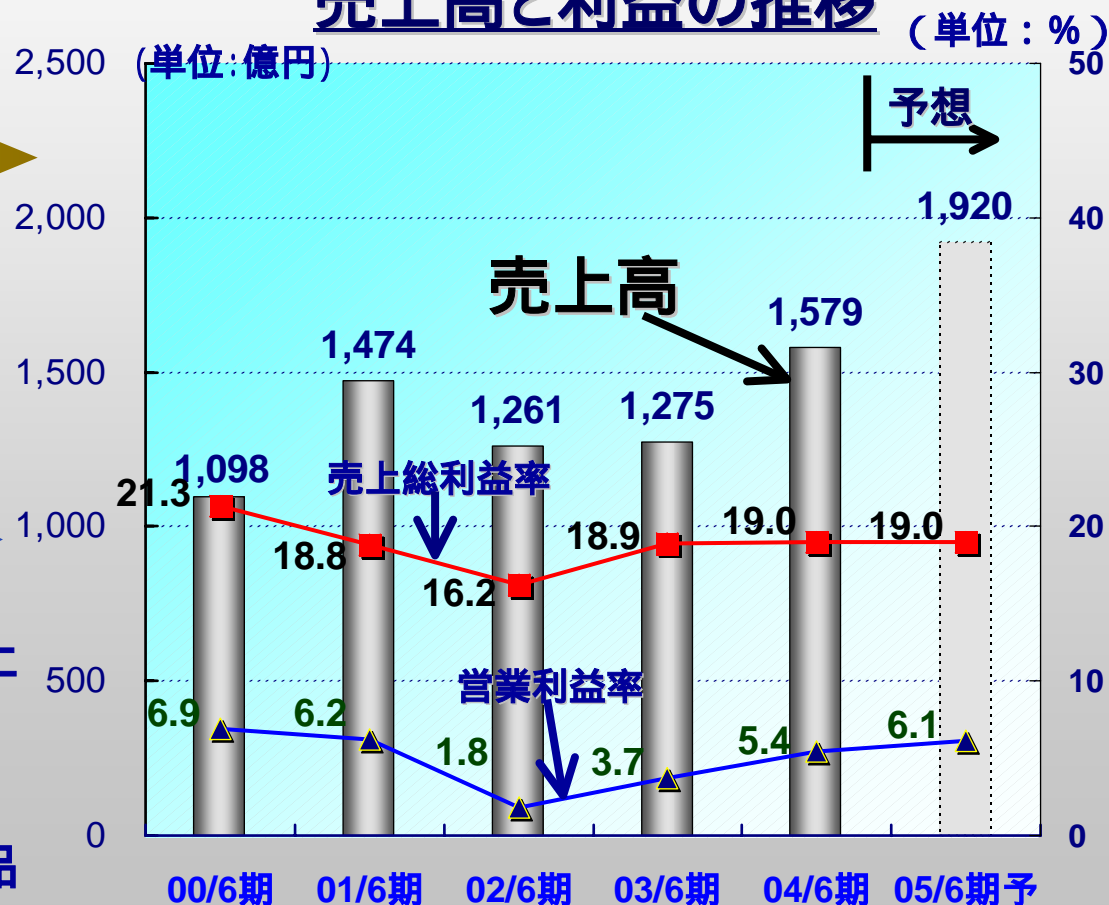
第1段階 (01/7 ~)

- ・標準化 (モジュール化・ユニット化)
- ・集中購買
- ・海外生産、海外調達
- ・原価予測管理

第2段階 (03/7 ~)

- ・エンジニアリングの信頼性向上
- ・納期短縮とCFの改善
- ・手離れの早期化
- ・加工センター稼動による製作品コストダウン

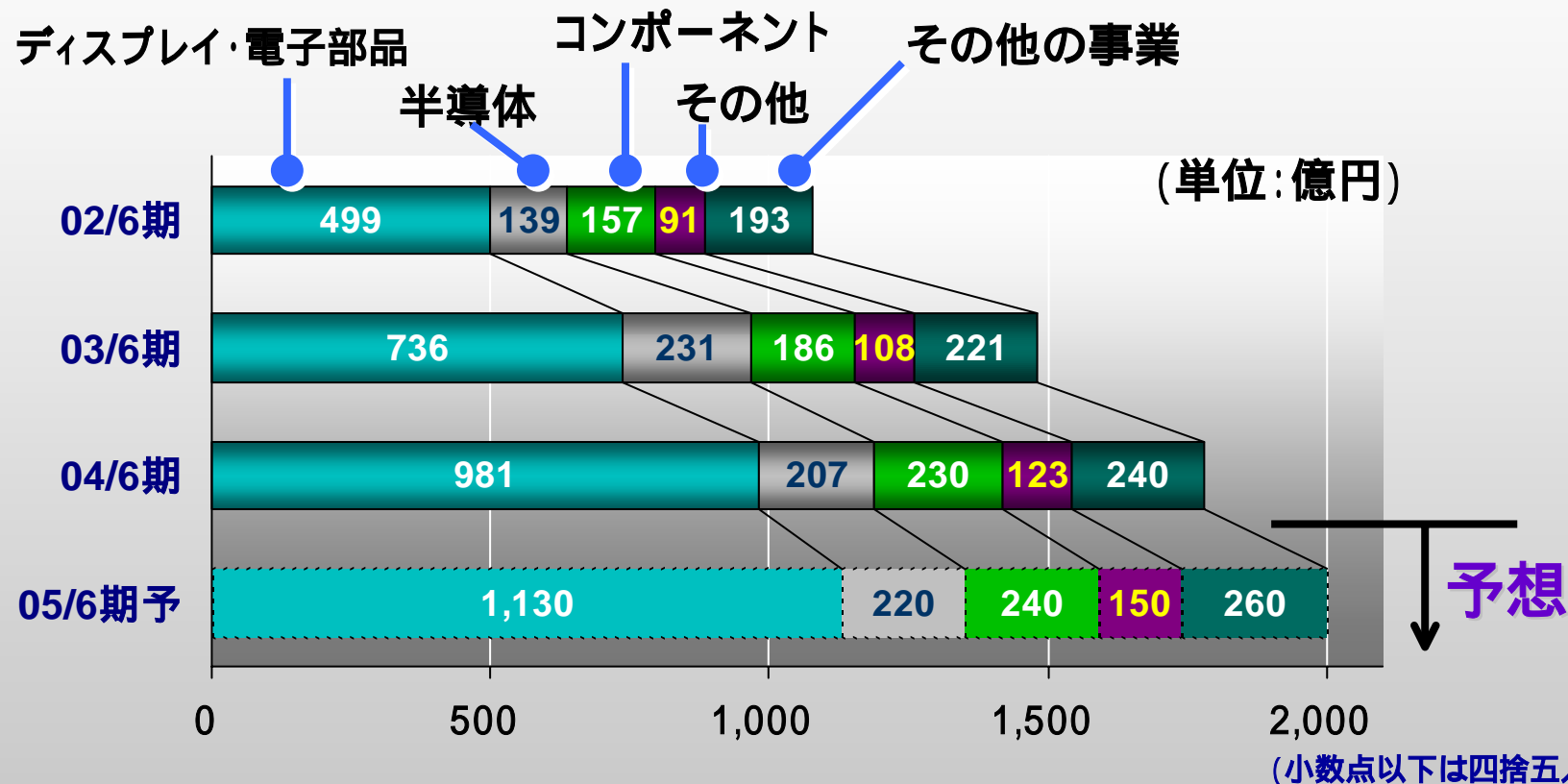
売上高と利益の推移



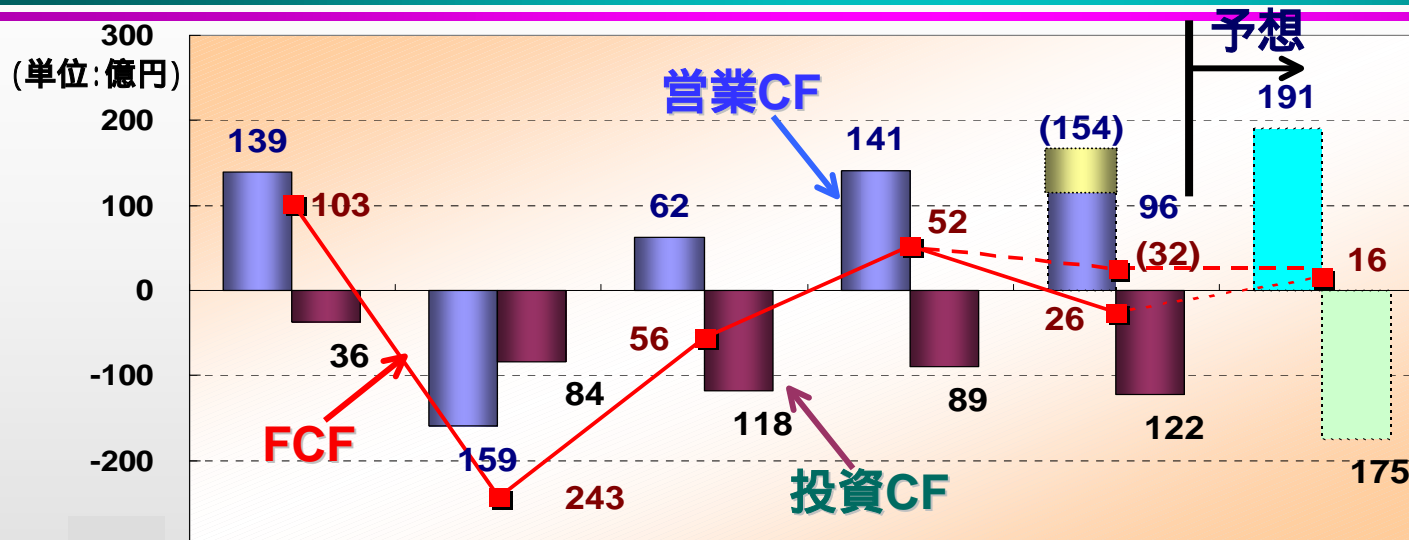
(小数点以下は四捨五入)

2. 受注拡大戦略

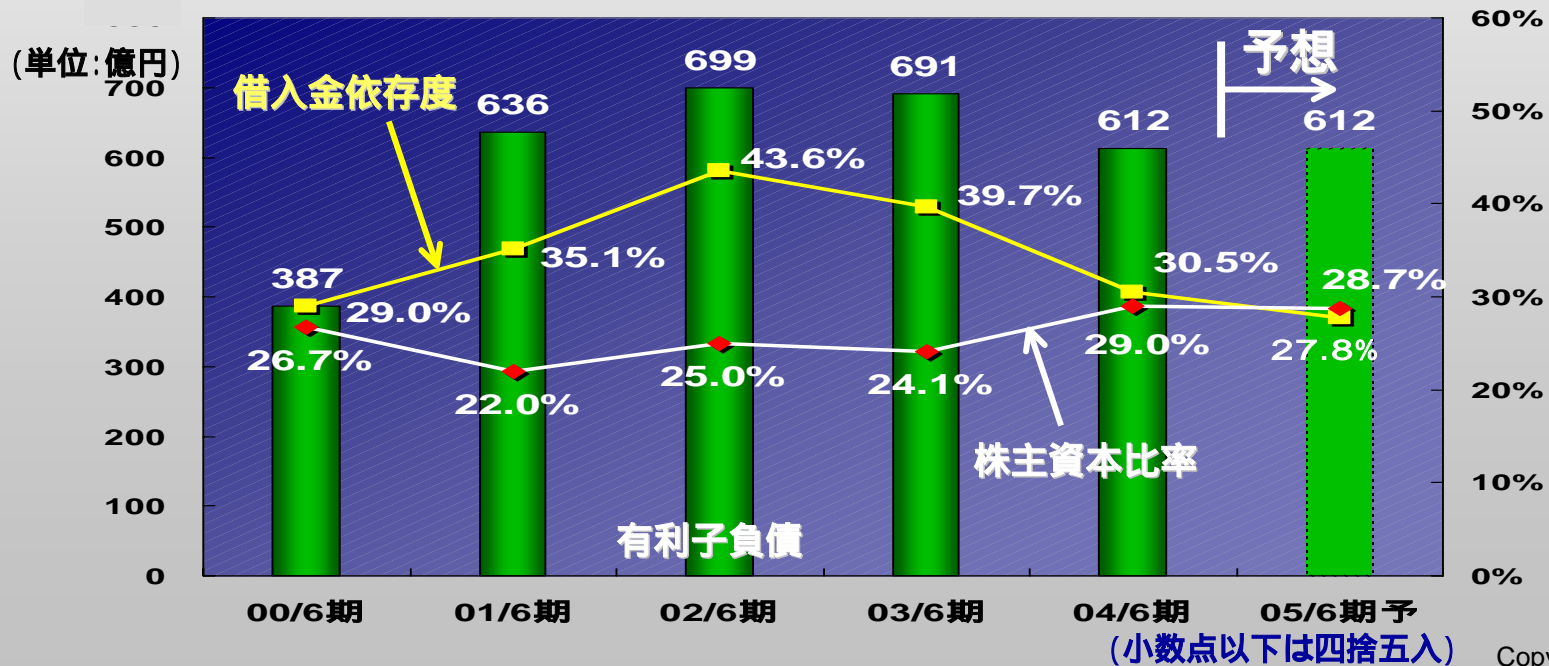
05/6期受注高予想(連結): 13%増



- 競合他社が真似できない独創的新製品を開発し受注拡大
- アルバックソリューションズで最大限のシナジー効果
- CSソリューションパッケージで受注拡大と安定経営



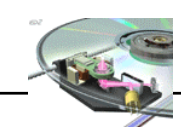
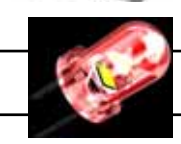
()内は債権流動化金額を加味した実質CF



(小数点以下は四捨五入)

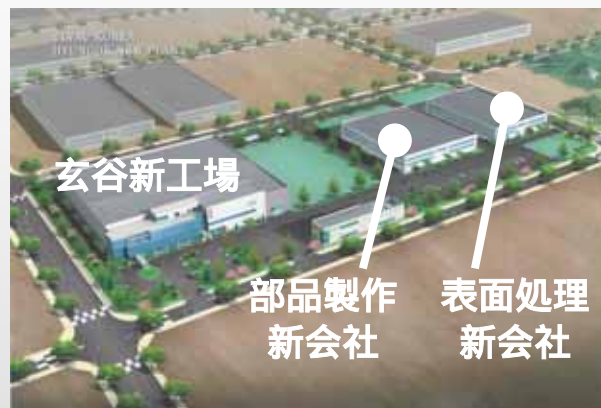
4.新商品開発戦略

品目	デバイス	主な開発装置	最終製品
電子部品製造装置 ディスプレイおよび	液晶ディスプレイ (a-Si TFT, LTPS TFT)	大型基板(7~8G)用 スパッタ、プラズマCVD	薄型TV
		固体レーザーアニーリング	携帯電話、デジカメ
	プラズマディスプレイ	大型、ハイタクト真空蒸着	薄型TV
	有機EL	高分子:インクジェット装置 低分子:真空蒸着	デジカメ 携帯電話
	光学膜	多層膜光学膜スパッタ	薄型TV、デジカメ
	デジタル家電関連 デバイス	真空蒸着、スパッタ、エッチング スパッタ、エッチング	LED デジカメ、フラッシュメモリ
半導体 製造装置	化合物半導体 MEMS	深堀エッチング ハイブリッドモジュールエッチング	レーザーダイオード バイオ、
	パワーIC	極薄ウエーハ用 イオン注入装置、スパッタ	ハイブリッド車
	コンポーネント	大型ドライポンプ	薄型TV
その他	強磁性体磁石	真空熱処理、真空溶解炉	ハイブリッド車



主な今後の投資予定(1)

■韓国



玄谷工場新設及び新会社設立

- 投資総額 約25億円
- 敷地面積 約49,000㎡
- 主な目的
 - ・7G以降液晶ディスプレイ製造装置
 - ・大型装置部品製作
 - ・部品表面処理
- 竣工予定 2005年3月～8月

■日本(鹿児島)



大型真空ポンプ工場増設

- 投資総額 約17億円
- 敷地面積 約11,000㎡
- 主な目的 液晶製造装置用大型真空ポンプなどの製造
- 竣工予定 2005年3月

主な今後の投資予定(2)

■ 中国

▶ アルバック啓電設立

- 台湾制御系会社との合併会社
- 中国の制御系ハードウェア生産を目指す
- 設立 : 2004年8月
- 資本金 : US \$ 100万
- 事業規模 : 2億円(初年度)

■ ロシア

▶ OOO^{*)} アルバックCIS設立

- 過去に納入の熱処理炉のサービスビジネス
- 将来成長が期待されるロシア市場への基礎固め
- 設立 : 2005年1月
- 資本金 : 1億円
- 事業規模 : 0.5億円(初年度)

^{*)}OOOは有限会社の意味

- ▶ 2004年6月期連結業績の概要
- ▶ 市場環境
- ▶ 2005年6月期連結業績見通し
- ▶ 中長期の事業戦略

中長期の事業環境

■ 足元の状況

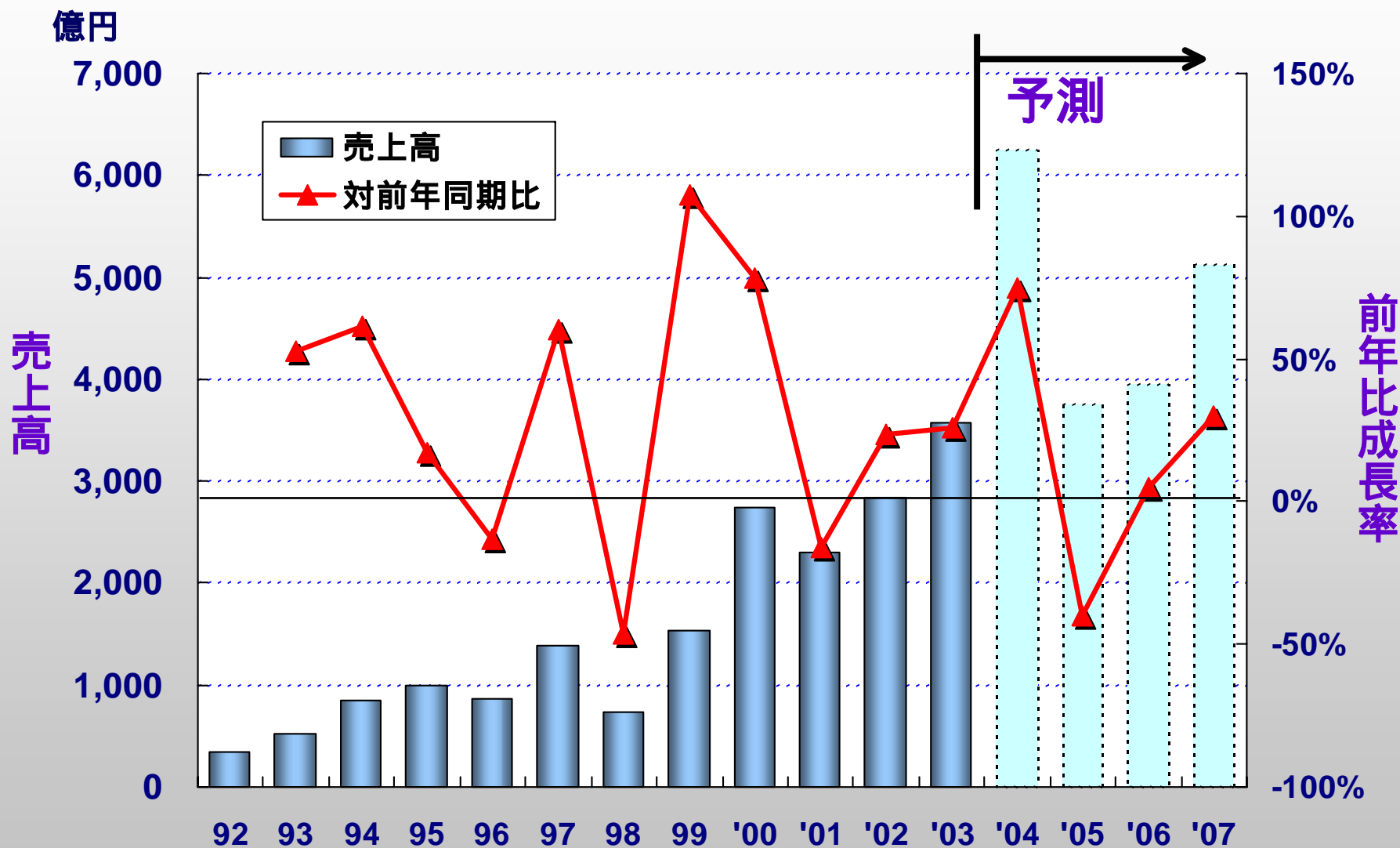
- FPD^{*)}は成長を持続するが、いずれ受注が減少
- FPDの受注減を埋め、さらに成長するために新しく成長する柱が必要

^{*)}FPD:フラットパネルディスプレイ

■ 中長期的な成長分野(ポストFPD戦略)

1. MEMS、光学膜などハイブリッドモジュール
2. エネルギー・環境関連のハイブリッド車
3. 世界を牽引する中国
4. 安定経営のためのCS(カスタマーサポート)ビジネス

液晶パネル製造装置予測 < 日本製装置売上高予測 > 35



(出所 :SEAJ)

(売上高:日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

新商品開発戦略 (ポストFPD戦略)

1. ハイブリッドモジュール用装置

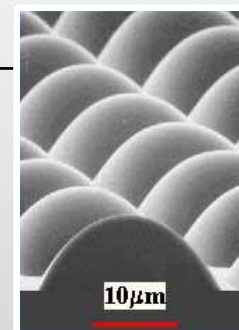
▶ 光学膜

OCLIとライセンス契約



光学膜スパッタ装置

▶ MEMS
(光、バイオ、
アクチュエーター、センサー等)



マイクロレンズアレイ

▶ 化合物半導体



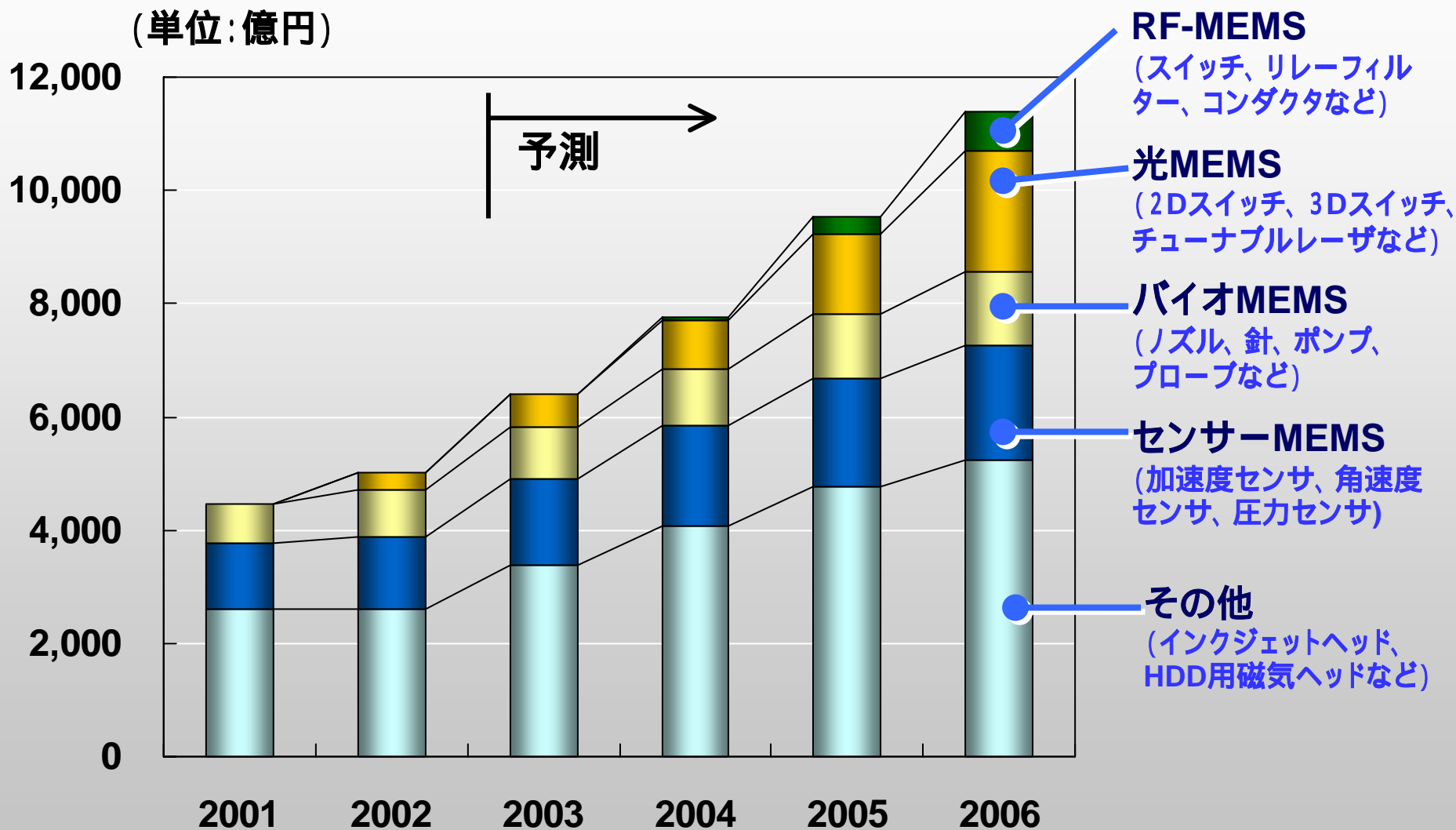
エッチング装置

▶ 高密度実装



スパッタ装置

MEMSの市場予測



(出所: 経済産業省技術調査レポート)

2.ハイブリッドカー関連装置

▶ **永久磁石**
(モーター用希土類磁石)

▶ **二次電池**
(水素吸蔵合金、Li電池等)

▶ **コンデンサー**
(フィルムコンデンサー)

▶ **パワーIC**
(極薄ウエーハ、SiC等)



真空蒸着装置



真空焼結炉



真空溶解炉



スパッタ装置



イオン注入装置

大手自動車メーカーのハイブリッド車展開



(単位:台)

	全世界
トヨタ	53,282
ホンダ	25,264

03年ハイブリッド車販売台数

(出所:日本工業新聞をもとに当社作成)

フォード

エスケープ(04/10~,2万台)
 フューチャ(05~)

日産

(06~)

GM

独自開発車(05~)

ダイムラークライスラー

Vision Grand Sports Tourer(時期未定)

3. 中国市場

▶ ローテクからハイテクまですべての分野

- ◆ コンポーネント(自動車、家電関連)
- ◆ 一般産業機器(磁石、熱処理、真空巻取蒸着)
- ◆ 電子機器(LED、VFD、パワーデバイス、チップ抵抗、SAWデバイス等)
- ◆ FPD・半導体(TFT、PDP、5”～300mmウエーハ)

4. CS事業とOEM生産

▶ 洗浄、部品、材料、サービス

- ◆ CSソリューションパッケージ

▶ 光学膜OEM

CS (カスタマーサポート) ソリューションパッケージ

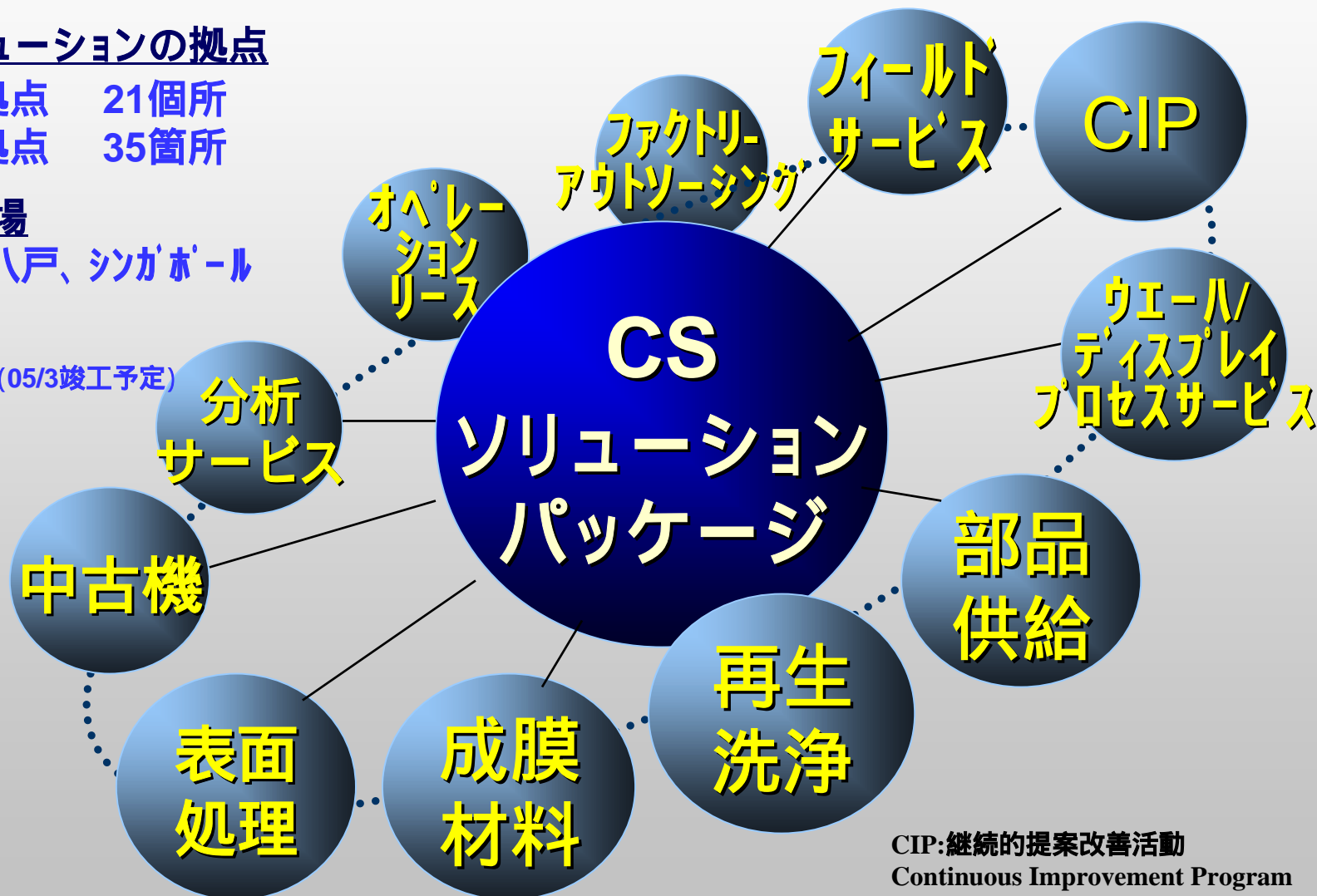
グループ一体でサービスソリューションを提供

主なCSソリューションの拠点

- ・海外CS拠点 21箇所
- ・国内CS拠点 35箇所

部品洗浄工場

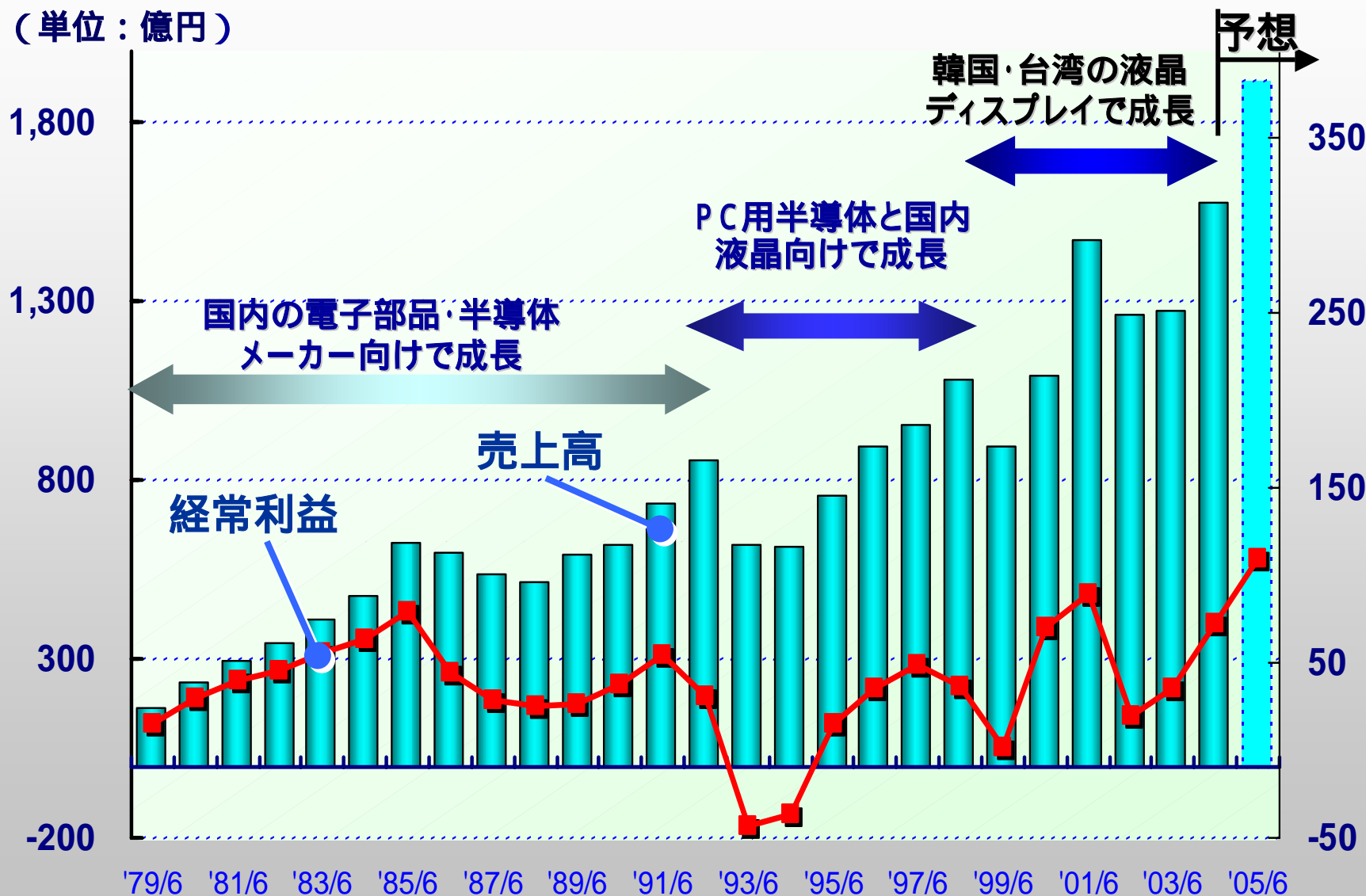
- ・鹿児島、八戸、シンガポール
- ・中国蘇州
- ・韓国平澤 (05/3竣工予定)



CIP: 継続的提案改善活動
 Continuous Improvement Program
 Copyright ©2004, ULVAC, Inc

売上高・経常利益の推移

(単位：億円)



本日は ありがとうございました

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知っている情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、フラットパネル・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。